



2020年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2019年7月31日

上場会社名 株式会社トモク
 コード番号 3946 URL <https://www.tomoku.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員経理部長
 四半期報告書提出予定日 2019年8月7日
 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東 札

(氏名) 中橋 光男
 (氏名) 山口 禎人

TEL 03-3213-6811

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第1四半期の連結業績(2019年4月1日～2019年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第1四半期	37,987	4.8	△391	—	△369	—	△403	—
2019年3月期第1四半期	36,236	7.7	△94	—	209	△4.4	98	—

(注) 包括利益 2020年3月期第1四半期 △1,008百万円 (—%) 2019年3月期第1四半期 492百万円 (131.2%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第1四半期	△24.66	—
2019年3月期第1四半期	6.04	5.52

(注) 2019年3月期第1四半期の親会社株主に帰属する四半期純利益の対前年同四半期増減率は、1,000%を超えるため、「—」と記載しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年3月期第1四半期	144,964	60,676	41.5
2019年3月期	142,517	62,184	43.3

(参考) 自己資本 2020年3月期第1四半期 60,146百万円 2019年3月期 61,663百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	—	20.00	—	30.00	50.00
2020年3月期	—	—	—	—	—
2020年3月期(予想)	—	20.00	—	25.00	45.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

※2019年3月期 期末配当金の内訳 普通配当 20円00銭 創立70周年記念配当 10円00銭

3. 2020年3月期の連結業績予想(2019年4月1日～2020年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	86,000	9.0	1,500	6.0	1,500	△17.0	600	△41.8	36.71
通期	185,000	7.8	7,600	46.0	8,000	42.8	5,000	12.0	305.89

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年3月期1Q	19,341,568 株	2019年3月期	19,341,568 株
② 期末自己株式数	2020年3月期1Q	2,995,717 株	2019年3月期	2,995,676 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2020年3月期1Q	16,345,860 株	2019年3月期1Q	16,346,754 株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載した業績予想等の将来に関する記述は、当社が本資料の発表日現在において入手している情報に基づき作成したものであり、実際の業績等は今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等について、四半期決算短信(添付資料)2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報等)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、個人消費は良好な雇用・所得環境のもとで堅調に推移していますが、設備投資は人手不足を背景とした省力化・合理化投資があるものの海外経済の影響を受けて輸出が弱めの動きとなり減速も見られます。米中貿易摩擦の激化など海外情勢の先行き不透明感はありますが、外需主導であった経済の拡大が広く内需に波及し、景気は緩やかに拡大しています。

その中で当社グループの当第1四半期連結累計期間の売上高は37,987百万円（前年同期比4.8%増）、経常損失は369百万円（前年同期は経常利益209百万円）、親会社株主に帰属する四半期純損失は403百万円（前年同期は親会社株主に帰属する四半期純利益98百万円）となりました。

セグメントの業績は次の通りです。

[段ボール]

段ボールの需要は、国内経済が緩やかな拡大基調にあり、加工食品や通販・宅配向け等が増加しておりますが、全体としては前年並みで推移しています。

当社グループの段ボール生産量は前年同期比プラスとなり、全国需要の伸びを上回りました。

当社グループは「ホワイト物流」推進運動の趣旨に賛同し、国民生活や産業活動に必要な物流を安定的に確保できるよう、荷主・物流当事者として主体的に改善を提案しております。

段ボールの売上高は、製品価格の改定に努め24,815百万円（前年同期比8.6%増）となりましたが、営業利益は、原材料コスト等の上昇もあって1,089百万円（同21.5%減）となりました。

[住宅]

住宅事業においては、今年度に入り住宅展示場への来場者数や受注状況も前年比マイナスが続いています。政府による住宅取得促進支援策は継続しているものの、消費者が景気の不透明感を懸念し、慎重に様子見が続いている厳しい状況で推移しております。

スウェーデンハウス㈱は、快適性能No.1のアピールと価値の持続する家作りを基本に「オリコン日本顧客満足度ランキング」で5年連続第1位の受賞を積極的に訴求するとともに、高級ブランドイメージの浸透に取り組んでまいりました。

住宅の売上高は販売棟数の減少もあって3,333百万円（前年同期比7.5%減）となり、売上が下半期に集中し上半期はコストが先行するという住宅事業の特性もあり、営業損失は1,760百万円（前年同期は営業損失1,820百万円）となりました。

[運輸倉庫]

運輸倉庫においては、5月から6月は天候不順の影響を受けて飲料関係の出荷が落込みましたが、大型連休に伴う連休前の好調な荷動きや西日本エリアでの飲料関係の取扱い増があり、売上高は9,839百万円（前年同期比0.6%増）となりました。燃料価格上昇や車両不足、ドライバー不足等による費用増加や内部コストの増加もあり、営業利益は516百万円（同7.4%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、現金及び預金が減少しましたが、受取手形及び売掛金やたな卸資産の増加等により、前連結会計年度末比2,446百万円増加の144,964百万円となりました。負債は支払手形及び買掛金が減少しましたが、短期借入金やその他流動負債の増加等により前連結会計年度末比3,953百万円増加の84,287百万円となり、純資産の部は利益剰余金やその他有価証券評価差額金の減少等により前連結会計年度末比1,507百万円減少の60,676百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第1四半期累計期間の業績を踏まえ、第2四半期及び通期の連結業績予想につきましては、2019年5月8日に発表いたしました業績予想の達成に引き続き努めてまいりますので、これを変更しておりません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	10,279	7,286
受取手形及び売掛金	28,830	30,810
電子記録債権	2,775	2,918
たな卸資産	10,089	12,819
その他	4,448	5,088
貸倒引当金	△59	△54
流動資産合計	56,363	58,869
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	24,725	24,390
機械装置及び運搬具（純額）	14,893	14,233
土地	28,291	29,705
その他（純額）	2,343	2,363
有形固定資産合計	70,254	70,692
無形固定資産	249	236
投資その他の資産		
投資有価証券	9,602	8,727
その他	6,309	6,697
貸倒引当金	△261	△259
投資その他の資産合計	15,650	15,165
固定資産合計	86,154	86,094
資産合計	142,517	144,964

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	19,594	17,378
短期借入金	3,262	8,038
1年内返済予定の長期借入金	9,358	8,688
未払法人税等	718	221
賞与引当金	1,767	854
その他の引当金	255	174
その他	8,396	11,268
流動負債合計	43,352	46,624
固定負債		
転換社債型新株予約権付社債	2,999	2,999
長期借入金	24,837	25,619
退職給付に係る負債	3,714	3,702
その他の引当金	633	619
その他	4,796	4,722
固定負債合計	36,981	37,663
負債合計	80,333	84,287
純資産の部		
株主資本		
資本金	13,669	13,669
資本剰余金	11,235	11,235
利益剰余金	37,285	36,392
自己株式	△4,318	△4,319
株主資本合計	57,871	56,978
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	3,398	2,920
繰延ヘッジ損益	-	△10
為替換算調整勘定	△26	△139
退職給付に係る調整累計額	419	396
その他の包括利益累計額合計	3,791	3,167
非支配株主持分	520	530
純資産合計	62,184	60,676
負債純資産合計	142,517	144,964

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年6月30日)
売上高	36,236	37,987
売上原価	30,577	32,491
売上総利益	5,658	5,496
販売費及び一般管理費	5,753	5,888
営業損失(△)	△94	△391
営業外収益		
受取利息及び配当金	71	98
為替差益	117	-
仕入割引	39	45
雑収入	142	74
営業外収益合計	371	218
営業外費用		
支払利息	33	42
為替差損	-	125
雑損失	32	28
営業外費用合計	66	197
経常利益又は経常損失(△)	209	△369
特別損失		
固定資産処分損	24	24
減損損失	7	1
特別損失合計	32	26
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	177	△395
法人税、住民税及び事業税	362	243
法人税等調整額	△300	△253
法人税等合計	62	△9
四半期純利益又は四半期純損失(△)	114	△385
非支配株主に帰属する四半期純利益	16	17
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	98	△403

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	114	△385
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	316	△476
繰延ヘッジ損益	△15	△10
為替換算調整勘定	91	△112
退職給付に係る調整額	△13	△23
その他の包括利益合計	377	△622
四半期包括利益	492	△1,008
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	476	△1,026
非支配株主に係る四半期包括利益	16	18

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第1四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	段ボール	住宅	運輸倉庫	計		
売上高						
外部顧客への売上高	22,854	3,601	9,780	36,236	—	36,236
セグメント間の内部売上高 又は振替高	44	0	1,088	1,133	△1,133	—
計	22,899	3,601	10,868	37,369	△1,133	36,236
セグメント利益又は セグメント損失(△)	1,387	△1,820	557	124	△219	△94

(注) 1 調整額は以下のとおりであります。

セグメント利益の調整額△219百万円には、セグメント間取引消去14百万円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△233百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益又は損失の合計額は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

II 当第1四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	段ボール	住宅	運輸倉庫	計		
売上高						
外部顧客への売上高	24,815	3,333	9,839	37,987	—	37,987
セグメント間の内部売上高 又は振替高	87	1	1,110	1,199	△1,199	—
計	24,902	3,334	10,950	39,187	△1,199	37,987
セグメント利益又は セグメント損失(△)	1,089	△1,760	516	△155	△236	△391

(注) 1 調整額は以下のとおりであります。

セグメント利益の調整額△236百万円には、セグメント間取引消去14百万円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△251百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益又は損失の合計額は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。